

2025 年 5 月 23 日

Z 世代以降の若者世代に半導体の魅力を伝えるトーキング・ポイントの作成について

世界半導体会議（WSC）

世界の半導体企業の最高経営責任者（CEO）クラスの参加で構成される世界半導体会議（WSC: World Semiconductor Council、以下 WSC）は、2025 年 5 月 22 日、中国・山東省青島市で開催し、多くの学生に半導体の魅力を伝えるためのトーキング・ポイントをまとめました。

WSC は、日本、欧州、米国、韓国、チャイニーズ台北、中国の 6 極の半導体企業および半導体工業会で構成されています。

このトーキング・ポイントの資料は、半導体の魅力を伝える下記の 4 つのポイントで構成されています。

- ・最先端、革新的、刺激的、そして成長産業
- ・持続可能な社会と健康増進に有意義に貢献する産業
- ・相互接続した価値連鎖と多様な雇用機会がある産業
- ・収益があり、収入が安定している産業

WSC は昨年より、Z 世代以降の若者世代に向けた半導体業界からのメッセージについて議論を重ねてきましたが、今回の WSC 共同声明の中で、昨年に引き続き STEM (Science 科学、Technology 技術、Engineering 工学、Mathematics 数学) 教育の初等レベルから半導体教育の必要性を訴え、各国・地域の政府が産業界と協力し、教育、訓練を促進、半導体業界の人材拡大のニーズを支援することを提言するとともに、高校や大学の若者世代に向けたトーキング・ポイントをまとめた資料を作成しました。

半導体産業は、最先端の技術を駆使し、革新的な産業を生み出し、毎日が刺激的であるので、この重要な産業の仲間になりませんか！という問いかけに始まるこの資料は、高校や大学などにおいて、これから就職先を選択しようとする学生が、半導体産業を目指すことを促すために作成したものです。

WSC の各国・地域のメンバーは、このトーキング・ポイントの資料をそれぞれの国・地域の主要な高校や大学でのイベント、講義およびセミナー等で活用し PR することにより、多くの学生が魅力的な半導体産業への就職を目指すきっかけとなることを期待しています。

この資料は、学生向けに配布することも考慮し、小冊子としても活用することが可能です。日本の半導体工業会（一般社団法人電子情報技術産業協会 半導体部会）は、このたび日本語の小冊子も作成しました。

半導体は、経済安全保障や国家安全保障を確立する上でのキーコンポーネントです。半導体は、デジタル社会の発展や地球環境にやさしいグリーン社会を実現していく上で最も重要な製品であるとともに、未来社会を実現する上で必要不可欠な基幹製品といえます。

今後多くの国・地域では人口が減少していくことが予想されますが、半導体産業はこのような未来社会の実現に向けて多くの人材を必要としています。ある報道によると、2030年までに半導体業界で 150 万人の新規労働者が追加で必要になるとの見通しを示されました。半導体産業の人材の高齢化が進み、人口も減少するので、女性を含めた多様性のある若手の半導体人材の育成が急務となります。

WSC は、数多くの半導体人材を育成することを目的として、あらゆる機会でのトーキング・ポイントの資料も活用し、半導体産業の魅力を PR することによって、それらの人材が将来的に我々半導体産業に携わってもらえるような啓蒙活動を継続かつ積極的に展開していきます。

以上

<参考>

WSC (World Semiconductor Council)

1996 年 8 月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米の半導体業界で WSC の設立に合意、1997 年 4 月に日米欧韓の半導体業界が参加して WSC の最初のミーティングをハワイで開催しました。今回が 29 回目となります。

WSC の Web サイト : <https://www.semiconductorcouncil.org/>